

平成 21・22 年度 土木学会複合構造委員会 第 5 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 22 年 3 月 24 日（水）9:00～11:45
2. 場 所：下関海峡メッセ 806 会議室
3. 出席者：横田委員長，古市幹事長，大垣幹事，大山幹事，田中幹事，西崎幹事，本間幹事，溝江幹事，渡辺幹事（欠席者：杉浦副委員長，池田幹事，斉藤幹事，島幹事，武知幹事，山口幹事，岡田事務局）
4. 配布資料
 - 資料 幹 5-1 平成 21・22 年度 第 4 回幹事会議事録（案）
 - 資料 幹 5-2 平成 21・22 年度 第 2 回委員会議事録（案）
 - 資料 幹 5-3 平成 21 年度予算執行状況
 - 資料 幹 5-4 重点研究課題申請書
 - 資料 幹 5-5-1 研究討論会企画案
 - 資料 幹 5-5-2 第 65 回研究討論会企画募集
 - 資料 幹 5-6-1-1 示方書講習会（大阪）HP 掲載原稿
 - 資料 幹 5-6-1-2 行事計画書（案）示方書講習会【大阪】
 - 資料 幹 5-6-2-1 示方書－維持管理講習会（札幌）プログラム案
 - 資料 幹 5-6-2-2 行事計画書（案）示方書講習会【札幌】
 - 資料 幹 5-6-3-1 示方書講習会（福岡）要望書
 - 資料 幹 5-6-3-2 行事計画書（案）示方書講習会【福岡】
 - 資料 幹 5-6-3-3 平成 22 年度西部支部事業計画（案）
 - 資料 幹 5-7-1 5thCECAR_abstract_submission_sheet
 - 資料 幹 5-7-2 Delay of submitting the Abstract (CECAR 5th)
 - 資料 幹 5-8 複合構造レポート「FRP を用いた鋼部材の補修・補強の設計・施工」の査読結果
 - 資料 幹 5-9 出版関係報告
 - 資料 幹 5-10-0 小委員会一覧_2010 年 3 月版
 - 資料 幹 5-10-1 複合構造標準示方書小委員会_活動報告
 - 資料 幹 5-10-2 維持管理小委員会_活動報告
 - 資料 幹 5-10-3 FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会_活動報告
 - 資料 幹 5-10-4 FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会_活動報告
 - 資料 幹 5-10-5 （欠 番）
 - 資料 幹 5-10-6 （欠 番）
 - 資料 幹 5-10-7 樹脂材料による複合技術研究小委員会_活動報告
 - 資料 幹 5-10-8 FRP 複合構造研究小委員会_委員募集案内
 - 資料 幹 5-10-9 FRP によるコンクリート構造の補強設計研究小委員会_委員募集案内
 - 資料 幹 5-10-10 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会_委員募集案内
 - 資料 幹 5-11 土木学会論文集の再編
 - 資料 幹 5-12 平成 22 年度委員会，幹事会予定（案）
 - 資料 幹 5-13-1 研究企画委員会委員選出_I 分野
 - 資料 幹 5-13-2 委員退任について

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり、横田委員長より挨拶がなされた。

(2) 第4回幹事会議事録案の確認（資料 幹 5-1）

古市幹事長より前回幹事会議事録案が読み上げられ、以下の語句修正を行うことで承認された。

- ・ 5. 議事内容／(5) 第8回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて
「・・・, 11/4 に開催された・・・」 → 「・・・, 11/4～6 に開催された・・・」
- ・ 5. 議事内容／(11) 小委員会報告審議事項について／複合構造標準示方書小委員会
「・・・, 3月号の会告に掲載する。」 → 「・・・, 3月号に会告を掲載する。」
- ・ 5. 議事内容／(11) 小委員会報告審議事項について／複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会
「③防水システム自体の性能評価法の諸外国と比較」
→ 「③防水システム自体の性能評価法の諸外国との比較」

(3) 第2回委員会議事録案の紹介（資料 幹 5-2）

大山幹事より前回委員会議事録案が紹介された。

(4) 平成21年度委員会予算執行状況（資料 幹 5-3）

古市幹事長より、平成21年度委員会予算の執行状況について説明があった。

(5) 平成22年度重点研究課題申請（資料 幹 5-4）

古市幹事長より、平成22年度重点研究課題の申請について説明があり、上田委員を研究代表者として、「複合構造標準示方書の戦略的国際展開（アジア共通のモデルコードを念頭に入れて）」という研究課題で申請したことが紹介された。

(6) 平成22年度年次学術講演会研究討論会企画（資料 幹 5-5-1, 5-5-2）

古市幹事長より、平成22年度年次学術講演会研究討論会企画について説明があった。審議の結果、複合構造物（複合技術）のその後をテーマに、近年施工された複合構造物（波形鋼板ウェブ PC 橋や鋼・コンクリート合成床版など）について再評価するような企画とし、本間幹事が担当することとなった。

(7) 複合構造標準示方書講習会（資料 幹 5-6-1-1～5-6-3-3）

田中幹事ならびに渡辺幹事より、大阪、札幌、福岡で開催予定の複合構造標準示方書講習会について説明があった。また、これに関連し、示方書の増刷について審議がなされ、増刷部数は500部とすることとなった。

大阪講習会（平成22年4月20日開催予定）

- ・ 参加人数は50名程度を想定しているが、3/18の時点で申込者は7名であったため、種々の機関に参加の要請をした。

札幌講習会（平成22年5月20日開催予定）

- ・ 維持管理小委員会の成果報告会と合同とする。
- ・ 会告は土木学会誌4月号に掲載される。
- ・ トピックスとして寒地土研の三田村氏とJR北海道の川村氏に講演を依頼している。
- ・ 参加人数は80名程度を想定している。

福岡講習会（平成22年9月下旬開催予定）

- ・西部支部に要望書を提出し、支部主催となった。
- ・西部支部が主催する場合、講師陣の旅費を支出に見込むため、参加人数を100名程度とする必要がある。
- ・100名程度の参加を期待することは容易ではないと考えられ、収益が赤字となる可能性がある。このような想定状況においても、西部支部主催で開催する意向なのかを確認することになった。また、西部支部が主催を断念する場合、本部主催で開催するかを検討することになった。
- ・九州近辺で講師陣を揃えられないか検討するとともに、どれだけの人数の参加が見込めるか調査しておくこととなった。

(8) 第5回アジア土木技術国際会議（資料 幹5-7-1, 5-7-2）

田中幹事より、第5回アジア土木技術国際会議（5th CECAR）への投稿に関し、複合構造標準示方書について発表することが報告された。

(9) 複合構造標準示方書の英訳

横田委員長より、複合構造標準示方書の英訳について上田委員から幹事会での審議の要請があった旨の説明があった。賛同意見が出されたものの、外注費を捻出することは難しいため、複合構造標準示方書小委員会で英文化についての議論をお願いすることとなった。

(10) 複合構造レポート「FRPを用いた鋼部材の補修・補強の設計・施工」の査読結果（資料 幹5-8）

大垣幹事、本間幹事、渡辺幹事より、FRPによる鋼および複合構造の補修・補強小委員会の成果報告となる複合構造レポート「FRPを用いた鋼部材の補修・補強の設計・施工」の査読結果について説明があった。査読結果を反映するには多大な労力を要することが想定されること、小委員会の活動期間が平成22年3月までであることから、審議の結果、土木学会から発刊される書籍として適切ではない旨の回答をすることとなった。しかしながら、有用な情報も多く含まれているため、当該委員会に対し、今回の成果を材料とした新たな小委員会での活動を提案することとなった。これらについて、古市幹事長が鈴木小委員会委員長へ査読結果を公式に文書で送達することとなった。また、今後の対応については、西崎幹事に鈴木小委員会委員長への助言等の協力が要請された。

(11) 出版関連事項（資料 幹5-9）

古市幹事長より、出版に関連した事項について説明があった後、印税について審議がなされ、今後は以下のいずれかの方針を採用することとなった。

方針A：印税を放棄して販売価格を下げる。

方針B：印税を出版物の作成に関わった方全員に貢献度を勘案して配分する。

なお、複合構造標準示方書については、方針Bとすることが確認された。

(12) 小委員会報告審議事項（資料 幹5-10-0～5-10-10）

維持管理小委員会

溝江幹事より、維持管理小委員会の活動状況について説明があった後、活動成果について審議がなされ、3月末脱稿の要望が出された。また、上記議事(10)に関連し、当該小委員会の成果報告書は複合構造レポート04として発刊することとなった。また、印刷部数について400部とすべきであるとの意見が出された。

FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会

西崎幹事より、FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会の活動状況について説明があった。

樹脂材料による複合技術研究小委員会

大垣幹事より、樹脂材料による複合技術研究小委員会の活動状況について説明があった。

その他

- ・FRP複合構造研究小委員会（H208委員会）の委員募集案内は土木学会誌4月号に掲載される。
- ・FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会（H209委員会）の委員募集案内は土木学会誌4月号に掲載される。
- ・複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会（H210委員会）の委員募集案内は土木学会誌5月号に掲載される。

(13) 新設小委員会連絡幹事

新設小委員会の連絡幹事について審議がなされ、H208 委員会については西崎幹事が担当することとなった。また、H209 委員会と H210 委員会については、委員が確定した時点で、担当を選任することとなった。

(14) 土木学会論文集部門 A の再編状況と編集委員（資料 幹 5-11）

大垣幹事より、土木学会論文集部門 A の再編状況について説明があり、部門 A は A1（構造、複合、鋼構造、地震）と A2（応用力学）に区分して委員会を設置することで合意されたとのことであった。また、論文集編集委員会は継続して設置されることとなり、複合構造委員会から委員を 2 名派遣して欲しい旨の要請があったため、残り 1 年の任期がある大垣幹事に加え、新たに島幹事に担当していただくこととなった。

(15) 平成 22 年度複合構造委員会の活動予定（資料 幹 5-12）

古市幹事長より、平成 22 年度複合構造委員会の活動予定について説明があり、審議の結果、2 回の委員会と 6 回の幹事会を開催することとなった。また、活動予定に次期委員長候補選挙（10 月頃活動開始）を加えることとなった。

(16) その他

- ・研究企画委員会の I 分野からの選出委員の任期が 5 月末であるが、後任は鋼構造委員会から選出される（現任は構造工学委員会から選出）。
- ・論文賞選考委員会委員について、当初は島幹事に担当していただく予定であったが、島幹事が受賞候補者となったため、西崎幹事に担当していただくこととなった。
- ・小林(洋)委員より委員を退任したい旨の連絡があったが、後任について小林(洋)委員からの推薦が無いため、大垣幹事、田中幹事、溝江幹事が小林(洋)委員と同じ分野をカバーするような方を人選することとなった。
- ・複合構造委員会ホームページの管理について、これまで山口幹事が長期にわたり担当されてきたため、斉藤幹事に担当を交代することとなった。

(17) 次回委員会・幹事会予定

第 3 回委員会

- ・開催日時：平成 22 年 6 月 16 日（水）14:00～
- ・開催場所：土木学会講堂

第6回幹事会

- ・開催日時：平成22年5月19日（水）14:00～
- ・開催場所：北海道大学工学部会議室

以上（記録・文責 溝江 慶久）